

▼アプレース錠・▼トロキシジン錠 [内]

【重要度】★ 【一般製剤名】トロキシピド troxipide 【分類】胃炎・胃潰瘍治療剤

【単位】▼100mg/錠

【常用量】300mg/日

【用法】1日3回

【透析患者への投与方法】設定されていない (1) 100~200mg/日に減量するか、データが少ないので他剤を選択 (1)

【保存期CKD患者への投与方法】100~200mg/日に減量するか、データが少ないので他剤を選択 (1)

【特徴】主に防御因子を増強させて胃潰瘍および胃炎に伴う胃粘膜病変を改善させる。胃粘膜の修復促進作用、血流量増加作用、代謝賦活作用、構成成分正常化作用、プロスタグランジン量増加作用を有する。

【主な副作用・毒性】ショック、アナフィラキシー、肝障害、便秘、下痢、嘔吐、動悸、倦怠感、皮膚障害など

【F】資料なし (1)

【tmax】2~3hr (1)

【代謝】6-オキシ体が同定 (1)

【排泄】尿中回収率約67% [po, 48hr まで] でそのうち96%以上が未変化体 (1)

【t1/2】5.9hr (1)

【蛋白結合率】結合しない (1)

【Vd】資料なし (1)

【MW】294.35

【透析性】資料なし (1)

【OW係数】17.9 [1-オクタノール/リン酸buffer] (1)

【主な臨床報告】胃炎に対する効果 (Dewan B and Balasubramanian A:Gastroenterol Res Pract 758397, 2010 PMID: 21127703)

【更新日】20190401

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。